

平成24年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 2項 畜産業費
 2目 畜産振興費

畜産課(内線:7291)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) がんばる酪農支援事業 (乳牛緊急増頭事業)	27,500	0	27,500				27,500	
トータルコスト	34,741千円(前年度 0千円) [正職員:0.9人]							
主な業務内容	事前調査・協議、申請報告の審査、調整、指導、実績確認・支払い							
工程表の政策目標(指標)	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

年々減少している県内生乳生産量を62,000tに維持拡大することを目的に、乳牛導入を行い、増産を図る。また、大山乳業農業協同組合(以下、「大山乳業農協」という。)の需要供給量に対応した生乳生産量の確保を図る。

大山乳業農協は、基金を造成し、乳牛育成牛を緊急導入し、担い手農家へ貸付けることにより、初期投資の負担を軽減し、規模拡大の支援を行う。

※担い手農家は、生乳生産活動を行いつつ、生乳代金、仔牛販売代金等により貸付代金の返済を行う。

2 主な事業内容

(1)融資事業

平成30年度に鳥取県の生乳生産量を62,000tにするため、大山乳業農協が緊急的に乳用牛を導入する以下の事業に対して無利子貸付を行う。

(単位:千円)

区分	事業内容	負担割合	予算額
乳牛緊急増頭事業	乳牛を緊急的に増頭するため基金を造成し、担い手農家の規模拡大を支援	県 1/2 大山乳業農協 1/2	<県貸付額> 27,500

基金造成期間 平成24年度から平成25年度まで(各5,500万円 計1億1千万円) ※県が造成額の1/2を貸付

事業実施期間 平成24年度から平成29年度まで(基金の精算は平成30年度)

乳牛増頭計画 350頭

※事業終了後、基金を精算するとともに、県からの貸付金の金額を県に返還する(平成30年度予定)

(2)助成事業

育成等の期間中に生じた回避困難な事由に起因する育成経費増加分について1/2を助成する。

(予算化は平成25年度以降)

3 これまでの取組状況、改善点

○酪農を取り巻く環境の悪化により、平成18年に234戸であった酪農家は、平成23年には170戸に減少している。併せて、乳牛成牛飼養頭数も7,200頭(平成18年)から6,600頭(平成23年)に減少している。

○平成23年度から県、大山乳業農協と有識者で「やらいや酪農プロジェクト」を立ち上げ、鳥取県酪農振興プログラムを作り、県内の今後の酪農のあり方やブランド化の強化について検討している。

○平成24年度から4か年にわたり、延べ350頭の乳牛を県外から導入することにより、県内乳牛の増頭を促進する。